

平成26年度 第4回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成26年9月19日(金) 14:00~16:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 9名
- 4 傍聴者 2名
- 5 配布資料 (1) 学習活動を通じて、地域づくりに貢献する公民館の今後の取組
について(諮問)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料1
(2) 平成26年度公民館定期講座実施状況・・・・・・・・・・ 資料2
(3) 平成26年度公民館まつり・・・・・・・・・・ 資料3
(4) 公民館講座のための意見交換会結果報告・・・・・・・・ 資料4
(5) 東京都公民館連絡協議会 職員部会・・・・・・・・・・ 資料5
(6) 東京都公民館連絡協議会 委員部会・・・・・・・・・・ 資料6
(7) 夏休み学習室開放結果集計表・・・・・・・・・・ 資料7
(8) 平成26年度第3回小平市公民館運営審議会会議要録・・・・ 資料8
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 学習活動を通じて、地域づくりに貢献する公民館の今後の取組につ
いて(諮問)
(3) 平成26年度 公民館定期講座実施状況について
(4) 平成26年度 公民館まつりについて
(5) 公民館講座のための意見交換会について
(6) 平成26年度 東京都公民館連絡協議会職員部会・委員部会報告につ
いて
(7) 平成26年度 第55回関東甲信越静公民館研究大会について
(8) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 9月市議会定例会について

① 教育委員の任命について

② 公民館に関連する一般質問について

- ・「公民館のように駐車場のある施設で、子ども広場を実施できないか。」

(答弁) 花小金井南児童館が鈴木公民館の土曜子ども広場「友・遊」で出張児童館を実施している。今後は回数を増やしたり、児童館の事業として実施するよう調整を進めていく。

- ・「男性介護者への対策事業を青少年男女平等課や公民館との連携、あるいは市民との協働で行ってはどうか。」

(答弁) 男性介護者への対策事業については、関係課で連携を図りながら進めていきたい。

③ 補正予算について

9月16日の総務委員会において、分館の施設修繕料を190万3千円増額する補正予算案並びに小平市立仲町公民館・仲町図書館改築工事(建築工事)及び旧仲町図書館等解体工事請負契約の変更についてと附帯設備工事請負契約の変更についての審査が行われました。審査結果については全会一致で採択された。なお、この工事契約の変更に伴い、工期については、ひと月延長して、10月31日までとなり、工事費の総額は9億6,667万3,020円となった。

(2) なかまちテラスリンクスプロジェクトの経過について

未来づくりワークショップは8月26日から7つのテーマごとに分科会が仲町公民館にて開催された。1回あたりの参加市民の人数は一番多い回で18人、少ない回では4人だった。9月13日からは全体会が開始され、分科会で出された様々なアイデアをテーマごとにまとめて、企画につなげていく予定である。

(3) 空き部屋の当日利用申し込みの試行実施について

10月1日から来年の3月31日まで試行として実施する。10月1日号の市報及び市のホームページ、ちらしで市民への周知を行う。その結果支障がなければ、平成27年度から本格実施する。

(質疑応答)

委 員 なかまちテラスの予算のことについてだが、補正予算額の総額について、当初は？

事 務 局 先ほどの金額は基本設計などを含めているが、解体工事、本体工事、附帯設備工事の合計金額で比較すると、当初が 6 億 5,980 万円で、変更後は 8 億 9,851 万 7,520 円。その差は 2 億 3,871 万 7,520 円になる。

委 員 増えたことは市民にどう知らせるのか？

事 務 局 平成 24 年の 12 月定例議会の時に採択されている。今回採択されたのは増えた分についてである。

2 学習活動を通じて、地域づくりに貢献する公民館の今後の取組について（諮問）
事務局より資料 1 について説明した。

（質疑応答）

事 務 局 公民館事業企画実行委員会の組織及び運営のあり方について、公民館運営審議会に諮問したい。

委 員 長 この諮問について、答申したいと思うがいかがか。

委 員 公民館事業企画委員会についての検討はしないで、実行委員会の方を検討するということか。

事 務 局 公民館事業企画委員会については、現在、中央公民館と分館とで検討しており、その結論を今年度中に出す予定である。ある程度できた段階で公民館運営審議会にお知らせするが、それを参考に公民館運営審議会において公民館事業企画実行委員会の検討をしていただくことになる。

3 平成 26 年度 公民館定期講座実施状況について
事務局より資料 2 について説明した。

（質疑応答）

委 員 上水南公民館の保育が「不成立」なのはなぜか？

分館長 公民館の保育は乳幼児が3人以上でないと成立しないため。

委員 パソコン講座のパソコンは持ち回りなのか。セキュリティソフトはどうしているのか。

事務局 専門のソフトは、入っていない。

委員 外部と接続する可能性のあるものでセキュリティのソフトは是非入れてもらいたい。

委員 青年教室のメンバーが新しい方がなかなか入れない、固定されている件についてはどうなったか？

事務局 けやき青年教室については、新しい方は入っている。

けやき青年教室は、軽度の知的障がいのある18歳ぐらいから40歳くらいまでの人を対象にレクリエーションをしたり、お互いのコミュニケーションを高めることを目的に年間を通じて行っている。毎年、クリスマス会・もちつき大会・サマーツアーなど様々な行事を通じて社会活動ができるように協力している。

委員 けやき青年教室に年齢制限はあるのか？

事務局 青年ということで、40歳くらいまでとしているが、ずっと参加してもらいたい気持ちもある。

委員 実際に定員オーバーするほど多くはいない状態ということか。

事務局 定員はオーバーしていない。

委員 定期講座の実施状況を見ると、定員がオーバーした講座がある。この場合のフォローについて、どう対応するのか。同じ内容の講座を別の日にやるとか。何か対策はしているのか。

事務局 人気のある講座については、定員を超えることはある。公民館講座のための意見交換会でも人気のある講座については、「いくつかの分館でやってほしい。」「翌年度にもやってほしい。」「前期・後期でやってほしい。」などの意見が

あったので、二度三度の機会を設けたいと考えている。

委 員 例えば、翌週あるいは1ヶ月後のように短い期間ではできないのか。

事 務 局 短い期間では難しい。前期・後期もしくは翌年度、または違う分館で行うといった形になる。

委 員 夏休み子ども映画会に行ったが、映画が古い。もう一度行く気にならない。ビデオプロジェクターでもう少し新しい映画を上映するなど、子ども達の参加を増やすためにもっと改善の余地があるのではないか。

事 務 局 視聴覚ライブラリーには、子ども向けのDVDの貸出がある。しかし、古い16ミリの映画が残っているので、映画会の実施方法については検討していきたい。

委 員 どうして、すべての館にパソコン講座があるのか。

事 務 局 公民館講座のための意見交換会でも、強い要望があるので、全館で行っている。

4 平成26年度公民館まつり開催報告について 事務局より資料3について説明した。

(質疑応答)

委 員 公民館まつり講演会の講師料は無料なのか。

事 務 局 講演会の報酬は定額で50,000円となる。

委 員 公民館のまつりは社会教育機関としてのものか、地域づくりのためのものか、心がけていることがあれば教えてほしい。特になければかまわない。

委 員 幅が広すぎるので、テーマ性を持った方がいいのでは。

分 館 全館とも地域との関わりを持つということ。地域によって内容も変わってくるが、小中学校の作品展示や震災など、子ども達や地域の方に楽しんでもらえるように考えている。

委員長 委員で講座を受けたことのない方は定員に達していない講座に参加してみてください。

5 公民館講座のための意見交換会について
事務局より資料4について説明した。

(質疑応答)

委員 ①魅力ある講座が必要。小平の地域性をもっと出した方がいいのではないかな。新しい層に魅力を感じてもらえる講座。商店の経営者の方に講師を依頼するなど。
②内容だけでなく、講座を通じたつながり。保育の仕組みを生かした若いお母さん方のネットワークづくり、若者から高齢者まで（子どもを含め）学びあう講座など。
③中央館と分館の特色を活かす。
④講座の内容とPRが必要

学びあうことを通して地域の活性化そのものに公民館が寄与していくことが重要である。

玉川上水は流域自治体がそれぞれのテーマで玉川上水について考えるのもいいのではないかな。玉川上水を未来遺産にしようという動きがあり、小平が中心となっているはず。

委員 ①それぞれ立地条件が違うのに、職員の方がいろいろ工夫していた。特に分館はチラシがとりやすいように工夫されていた。
②公民館は地域密着、特に分館は中央みたいに駐車場が潤沢ではなく、大きくないところがほとんどなので、歩いて行ける公民館が、地域の拠点としての役割を果たしていけるのではないかな。公民館における企画内容としても、受け身で終わる講座から他者に貢献できる講座があると学びが深まるのでは。

委員 各公民館と友の会との連携は取れているがそこで止まっていて、新しい参加者がいない。地域の中で工夫した講座をやってほしい。
告知方法が、もっとタイムリーにイージーにできないか。きっかけづくりをどうするかが、公民館の利用につながるのではないかな。

委員長 公民館だよりの件で検討されていることがあれば、教えてください。

事務局 ボリュームがありすぎるので、講座の内容にしぼった形にするとか、関心の高いものに特化するとか、来年度に向けて検討する。

委員 中央公民館のちらしの置き方、配り方に工夫ができています。

委員 意見交換会の参加者からの意見で、「ネット検索しやすいようにしてほしい。保育付きがどれか、パッとわかるとありがたい。空きの有無や残数の途中経過もわかるといい。」との声があった。また、「こういう講座をやってほしい。」との声があった時、「自分は講師ができます。」という意見と「サークルが高齢化して、集まらなくなってきたので、新しいサークルのお手伝いをしたい。」との提案があった。

6 平成 26 年度 東京都公民館連絡協議会職員部会・委員部会報告について
事務局、委員より、資料 5 から 6 について説明した

7 平成 26 年度 第 55 回関東甲信越静公民館研究大会について
参加者を紹介し、詳細は後日連絡することとした。

8 その他

(1) 夏休み学習室開放結果集計表について
事務局より資料 7 について説明した。

次回は、12 月 16 日（火）午後 2 時より、中央公民館会議室にて開催する。